

谷田部東中通信

学校便り NO. 11
令和 7年 3月 26日
つくば市立谷田部東中学校

春暖の候 保護者の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。梅の花は咲き誇り、桜の花も咲き始めています。強風や雪と天候も目まぐるしく変化しました。寒暖差も激しい最中ではありますが、皆さまも十分にお体には気を付けてお過ごしください。

さて、令和6年度が終わり、令和7年度が目前となりました。新たな出発をする卒業生、高校での生活にワクワクしているのではないのでしょうか。また新学年へと進級する7、8年生は、期待と不安が入り混じっている心境ではないかと思います。新たな希望や目標をもって、次年度につながる時を過ごしてほしいものです。卒業生の保護者の皆様、ご協力をいただき誠にありがとうございました。また、在校生の保護者の皆様には、今後ご理解・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

◎第37回卒業証書授与式

3月11日(火)に、卒業式が挙行されました。厳かな雰囲気の中、卒業生たちは、立派な姿を披露することができました。卒業生合唱では、気持ちを一つに迫力ある歌声が館内に響き渡りました。その気持ちを在校生も感じ取り、聞き入っている様子が見られました。卒業生は、谷東魂を送り、在校生はその魂を引き継いだ瞬間だったのではないかと思います。涙ぐんでいる生徒もいましたが、プライドをもって堂々と退場する姿が印象的でした。これまで谷東の看板を背負い、行動で示してきた卒業生の背中とは、とても凛々しく感じられました。今年度は全学年で実施できたことをとてもうれしく思います。



◎阿部翔太様 講演

3月4日(火)には、チームプラネット代表理事である阿部翔太様より「未来に向けた一歩を踏み出すための心構えと実践術を学ぶ」をテーマに、ご講話をいただきました。野球を通じた人生を振り返り、チャレンジすること、海外の情勢を感じながら世界に関わり貢献していくこと、文化交流についてなど、幅広い見識と深い経験をもとに、生徒の心をつかんだ講話をしてくださいました。生徒たちも興味が尽きず、多くの質問を投げかけていました。



◎7年生を送る会

3月6日(木)に、9年生を送る会が催されました。感謝の気持ちをのせた歌声、工夫を凝らした動画の上映、心のこもった吹奏楽の演奏、テンポのよい学校クイズと在校生の各学年で念入りにリハーサルをして完成度の高い内容で、卒業生も感動の声をあげるような会となりました。卒業生からも返礼の動画があり、お互いにリスペクトした雰囲気での会が進んでいったことが、とても心に残りました。



◎新たな出発

生徒会では、清掃の時間に黙働清掃を呼びかけています。自分の心に向き合い、周囲の様子を見て、清掃活動の中で掃き掃除や磨き掃除を進んで行くことで自分磨きにもつながると言われています。清掃活動には、これまでも真剣に取り組む様子が見られましたが、より一層気持を込めて清掃する姿が見られています。新たな伝統を築く一歩となっています。先輩たちの姿を追い、先輩たちの積み上げてきたことへ、さらに積み上げていけるのではないかと期待をあふれます。

今年度、保護者の皆様のご協力とご理解のもとに、生徒も教員も様々なことにチャレンジすることができました。学校長の期待する「煌」の一文字が現実化していると思います。改めて本当にありがとうございました。

◎修了式

3月24日(月)に、表彰式・修了式が挙行されました。表彰式では、みんなに伝えたい一冊の本事業での表彰、善行賞とコツコツと積み重ねた努力が報いられた表彰でした。修了式では、学級名が呼ばれ、大きな返事で、声を合わせて返事をするのができ、成長を感じました。代表者の振り返り作文発表では、7年生代表、北百恵さんは、ライバルに負けた悔しさをバネに、努力を続けてきた結果、技能の向上が見られ、ライバルと共にペアを組んで切磋琢磨していることを発表しました。8年生代表、保坂桜咲さんは、体育祭や合唱祭での一体感が忘れられない思い出であり、企業訪問での貴重な体験が身になっていると感じているなどを発表しました。

学校長式辞では、「修」の意味を知ってほしいこと。躍動の見られた年であったことを述べたのちに、「3つのくい」について、お話がありました。

「悔いのない人生」

…時間は戻らない。チャンスをつかむためにチャレンジしよう。

「歯をくいしばれ」

…寒さに耐える梅は、寒さにくいしばったからこそ、春先にきれいな花を咲かせる。

「出る杭になれ」

…「出る杭は打たれる」というが、出る杭となって、自分のできること、できる限りの力を最大限、引き出して進んでほしい。

